



しらすぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 5
(通巻214号)
令和2年(2020)
6月15日(月)

《生徒のみなさんへ》

『考えて行動しよう』

校長 飯野 博史

関東地方も梅雨入りし、毎日蒸し暑い日が続きます。新型コロナウイルス感染防止とともに熱中症、食中毒にも注意していきましょう。

約2週間の分散登校が終了し、今日から全員登校となりました。新しいクラスの仲間と教室で初めて全員顔を合わせます。新しい仲間たちと先生たちと楽しいクラスをつくっていきましょう。期待しています。

分散登校期間中、みなさんが「密」を避けて、先生方の指示に従って行動する様子が至るところでうかがえました。みなさんの感染防止の意識の高さがうかがえ、立派だったと思います。今日からは登校人数も増え、今までのように「密」を回避するのは難しくなります。また、19日(金)からは給食も始まり、さらなる感染防止策の徹底が必要となります。さらに、授業や部活動が本格的に始まっていくと、分散登校期間中のように先生方が休み時間中ずっとみなさんを見守っていくことが困難になります。自分たちで考え、判断し、行動する姿勢が必要です。

- ・朝、登校したときに玄関や靴箱に人がたくさんいたらどうしますか？
→ 密集しているところにあえて行かないことが必要です。
- ・下校するときに玄関で他の学級の生徒を待っていたらどうなりますか？
→ お互いに密集する状態をつくらないことも必要です。
- ・特別教室で授業をすることもあります。少人数授業でも他の人の机や椅子を使うことがあります。1回ごとに消毒するわけにもいきません。どうしますか？
→ 授業の前後にしっかりと手を洗い感染予防をすると同時に、他の人が気持ちよく使えるように配慮することが必要です。
- ・給食が始まります。短時間で配膳や片付けをするにはどうしたらよいでしょう。
→ まずは先生や給食委員の指示に従って新しい給食の仕方を身に付けましょう。
こんな時こそ学級全員が協力して取り組むことが必要です。

次々とあげていたらきりがありません。いつもその場に先生がいるわけではありません。その場その場でみなさん一人一人が感染防止を意識した行動をとるしかありません。また、気が付いたことがあったら仲間同士で注意し合うことも必要です。

過度に臆病になることはありません。「密室・密閉・密接」を避ける、マスクをする、といった基本的なことをしっかりと身に付け、「新しい生活様式」を確立していきましょう。

八中の教育目標の一つに「考えて行う」という項目があります。今年度も重点項目としていきます。今こそ「考えて行う」が達成できるように意識して行動していきましょう。

感染防止に努めながら、新しい先生や仲間と「明るく前向きに」新しい学級をつくっていってくれることを期待しています。



「拝啓 我が家より」

歓迎の言葉

生徒会長 ○○○○

一日一日と暖かくなり始め、春の日差しが心地よく感じられる頃となりました。今日新たな一歩を踏み出す新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表して、歓迎の言葉を述べさせていただきます。今日、はじめて中学校へ登校したみなさんは、期待や不安でいっぱいだと思います。慣れない環境、少し大きめの制服に身を包み、周りは知らない人ばかり、何があるかわからない中学校生活の始まり。けれども、入学したときは周りもみんなも、そして私たち二、三年生も同じ気持ちでした。新しいことをするとき、不安は誰にでもあります。私も生徒会長になったとき、みなさんと同じようにはじめてのことばかりで不安でいっぱいでした。しかし、副会長をはじめとする他の生徒会役員が、自然と助けてくれて、今はお互いに意見を出し合い、一緒になって取り組むことができます。一人ではできないことも、多くの人が助けてくれることによって、できるということを改めて感じました。みなさんも困ったときは、先生方や私たち先輩に遠慮なく聞いてください。みんなで助け合って、より活発な学校にしていきたいと思います。

中学校生活は小学校の頃とは違い、勉強も難しくなり部活動も始まります。また、定期テストもあります。両立することは簡単なことではありませんが、今までに体験したことのないような達成感を感じることができると思います。また、八中には、運動会や学習発表会、合唱コンクールなど他にもたくさんの行事があります。私が行事の中で、特に心に残っているのは、二年生の運動会です。最初はみんなの気持ちがバラバラで、朝練に来ない人が多かったです。しかし、練習を重ねていくうちに、だんだんとクラス全員が絶対に優勝したいと思うようになり、最後まであきらめずに取り組みました。運動会当日は、いろいろなハプニングがあり、優勝することはできませんでしたが、みんなと一致団結して全力を出し切ったことは、とても楽しく心に残っています。このように、クラス対抗で競う行事は、みんなと協力して行うため、団結力がより深まります。これから、充実した行事を一緒につくりあげていきたいと思います。

小学校の半分の三年間という時間は、みなさんが思っているより、あっという間で、ただ何となく過ごすのではなく、多くのことを学び、経験して、実りある三年間にしてください。三年後、「中学校生活やりきった、充実していた」と思って卒業できるように、一日一日を大切に過ごしましょう。私たちもみなさんと送る中学校生活を楽しみにしています。
(4月の入学式に準備していたものです)

◎ 美術科課題 水彩画「拝啓 我が家より」(3年生編)

臨時休業中の美術科の課題に「拝啓 我が家より」と題し、我が家の窓やベランダから見た風景を水彩画で仕上げてくるものがありました。(表の写真参照) 絵の下のカードに、描いた風景の説明やみんなへのメッセージが書き添えられています。どの絵も一生懸命に取り組んだ様子がかがえませんが、添えられたメッセージに心打たれました。臨時休業中の生徒たちの思いが伝わってきます。

- ・早く友達と会いたい、遊びたい、学校に行きたい、そんな気持ちでいっぱいです。早く元通りの生活に戻ってみんなが楽しく過ごせるようになってほしいです。
- ・私は今、とても学校に行きたいです。家族だけだと家の中で全く盛り上がりせず、早く学校の楽しい雰囲気を感じたいと思うのです。皆さんはどうでしょうか？学校に早く復帰できるようにするためにも、感染症には気をつけて、できる範囲で学習していきましょう。
- ・今は毎日家にいて、学校がないだけでこんなに暇なんだと実感しました。もし収束して学校に行けるようになったら、一日を大切に過ごしていきたいです。
- ・家から学校が見えるのに学校に行けないのはとても残念です。早く学校に行けるようになって新しいクラスの人とたくさん話すことができるようになってほしいです。